

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
資格対策講座 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	末吉 竜介			実務経験	有	職種	Webエンジニア／組み込みエンジニア／学習塾講師				
担当教員紹介											
担当教員は、企業のWebサイト制作や券売機等の組み込みシステムの開発に従事し、提案から設計、開発、運用、保守まで全行程の実務経験がある。基本情報技術者試験、旧初級システムアドミニストレータ試験、旧CG検定2級等の資格を有する。											
授業概要											
午前試験について過去問を解き、見直しを行った上で解説を行っていく。過去問題の出題頻度の高いものから順に対策していき、合格可能性を高める授業を実施する。自宅でe-ラーニングを行い、授業の中で質疑応答をする「反転学習」の形式をとるため、学生自身が自宅学習を怠ることなく進めることが肝要となる。											
到達目標											
基本情報技術者試験（F E）の午前試験免除制度を利用し、修了試験に合格できる力を身に着けることを目標とする。基本情報技術者試験のテクノロジー分野(基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術)、マネジメント分野(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ分野(システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務)のうち過去に出題された問題を重点的に理解する。											
授業方法											
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験免除制度を利用し、修了試験に合格することを目的とする。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 過去問の点数の増減を基に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回の講義で説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。また、午前免除制度で認定されたeラーニング型試験対策システムを利用するため、認定テキスト、e-Learningシステムは必ず購入し、自宅学習を進める必要がある。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ITワールド インフォテックサーブ / IT戦略とマネジメント インフォテックサーブ / e-Festa											
回数	授業計画										
第1回	基本情報技術者試験の午前免除資格の必要性、今後の進め方を理解する。										
第2回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第3回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第4回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第5回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
資格対策講座 2	
第6回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第7回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第8回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第9回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第10回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第11回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第12回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第13回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第14回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第15回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。